

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名	一般国道445号 <small>ごかのしょう</small> 五家荘バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	熊本県
起終点	自：熊本県八代市泉町葉木 <small>やつしろしいずみまちはぎ</small> 至：熊本県八代市泉町樫木 <small>やつしろしいずみまちもみき</small>	延長	3.3km		
事業概要	一般国道445号は、熊本県熊本市を起点とし、同県人吉市に至る延長約110kmの幹線道路である。五家荘バイパスは、幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保及び緊急輸送道路として大規模災害時の道路機能確保を目的とした延長約3.3kmの2車線道路である。				
H5年度事業化	H年度都市計画決定(H年度変更)	H6年度用地着手	H6年度工事着手		
全体事業費	78億円	事業進捗率	85%	供用済延長	2.2km
計画交通量	900台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 3.4	総費用 (残事業/事業全体) 12/105億円 (事業費:11/101億円 維持管理費:1.3/3.3億円)	総便益 (残事業/事業全体) 41/133億円 (走行時間短縮便益:40/128億円 走行費用減少便益:0.81/4.4億円 交通事故減少便益:-0.12/0.08億円)	基準年	平成19年
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 物流効率化の支援（農林業を主体とする地域において農林産品の流通利便性が向上） 国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消）他2項目 				
関係する地方公共団体等の意見	本路線は沿線市町村による建設促進協議会があり、例年、早期整備の要望が強くなされている。八代市からは、五家荘地区の観光振興の観点から紅葉時期の渋滞緩和と共に、早期完成の要望がなされている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	当該事業箇所が位置する旧泉村を含めた1市2町3村の市町村合併により、平成17年に誕生した新八代市の新市総合計画では、市民生活の利便性・安全性、産業の活性化等のため広域道路網を成す国道を初めとする交通基盤の整備が不可欠とされている。さらに、国道445号は県防災計画で緊急輸送道路に位置付けられ早急な整備が望まれている。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成19年度までに、2.2kmを部分供用。また、1.1kmの区間について事業推進中である。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	現在施工中区間の1.1kmについては、平成24年度までの供用を目指す。				
施設の構造や工法の変更等	事業延長を7.5kmから3.3kmに減ずる。				
対応方針	計画見直しのうえ事業継続				
対応方針決定の理由	上記の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性が見込まれることから、着手済みの区間については工事の促進を図り早期の供用を目指す。なお、事業延長から減じた区間については、幅員狭小及び線形不良箇所等の交通隘路解消と併せて防災対策について局所的施工を行うことで、早期効果発現を図るべく事業計画を見直し、別途施工することとする。				
事業概要図	<div style="text-align: center;"> <small>ごかのしょう</small> 一般国道445号五家荘バイパス L=3.3km </div>				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

